# 令和6年度 第2回本郷新記念札幌彫刻美術館運営協議会 議事録

日 時: 令和6年12月18日(水) 15時00分~16時00分

会 場:本郷新記念札幌彫刻美術館 本館 研修室

出席委員: 髙橋大作(札幌彫刻美術館友の会会長)、児玉聡夫(宮の森明和会会長)、紺野高裕(札幌市立三角山小学校校長)、佐藤郁絵(札幌市立大倉山小学校PTA)、嶋田雅人(彫刻美術館課長)以上5名

所 管 課:柳本和寬(札幌市市民文化局文化部文化振興課振興係長) 小川桜(札幌市市民文化局文化部文化振興課振興係事務職員)

事務局:吉崎元章(本郷新記念札幌彫刻美術館館長)、梅村尚幸(事業係事務職員/学芸員)、柳原潤(業務係事務職員)、白浜玲(同業務係事務職員)

次 第:1 開会

2 議事

(1) 令和6年度事業報告(8月~11月)

(2) 令和7年度事業企画状況

## (3) その他

## 当日配付資料:

- ・令和6年度事業経過報告(8月~11月)
- ・「本郷新記念札幌彫刻美術館 令和6年度入館者アンケート集計(2024年8月 ~2024年11月)」
- ・本郷新記念札幌彫刻美術館 令和7年度事業スケジュール (案)
  - ・ほか配付物

藤原展チラシ、藤原展図録、おしゃべり美術部レター、雪像彫刻展チラシ、館長の十曜講話チラシ

### 議事内容:

(1) 令和6年度事業経過報告(8月~11月)

事務局より配付資料に基づき、令和 5 年度事業経過報告(8 月~11 月)について報告を行った。

(2) 令和6年度事業企画状況

事務局より配付資料に基づき、令和6年度事業計画状況の説明を行った。

(3) アンケート集計報告

嶋田委員より、配布資料に基づき、アンケート集計(2024 年 8 月~11 月)の結果報告を行った。

(4) その他

### (5) 意見交換

佐藤委員: 今年度や来年度にわたって、活動的かつ精力的に様々なことを行っていることに感銘を受けている。子供たちに地元への愛着を持ってもらうため、足を運んでもらう機会を増やしたい。造形教室はすでに定員に達しているため「すぐーる」での告知を見送るが、雪像彫刻展の告知を行う予定。お休みの日に人々が参加できるイベントを提供したい。Instagramをフォローし、素敵な投稿を楽しみにしている。

紺野委員:学校教育への貢献が素晴らしいと感じている。ハロー!ミュージアムに関しては、バス代が上昇し、遠方への移動が難しくなっているため、近場でアクセスできる場所が求められている。雪まつり会場に雪像を作るなど、外での発信が素晴らしいと感じている。旅行やイベントがただの見学ではなく、ワークショップや造形教室などの体験型プログラムへのニーズが高まっていることが素晴らしい。財団の管理によって札幌市の子供たちに多くの貢献がなされている。子供たちが美術や芸術に触れることが心の豊かさや情操教育に大きな影響を与えると考えている。子供の数が減少する中で、高齢者がより興味を持って訪れるような取り組みが重要と感じている。

嶋田委員:彫刻美術館や芸術の森での「ハロー!ミュージアム」について、多く の満足度が高いというのは素晴らしい。特に彫刻美術館にわざわざ足 を運んでいただいているというのは、本当に有難いこと。

梅村学芸員:各成長段階で子供たちが美術館と関わる機会を持つことは、非常に

価値がある。「おしゃべり美術部」のような活動において、各年齢層 にアプローチしていきたい。

佐藤委員:語学学校には様々な年齢層や背景を持つ人々が集まる。日本語ができる方も多いので、彫刻美術館のポスターを掲示することで新たな訪問者を増やす良い機会になる。

吉崎館長:彫刻美術館としてのポスターはないが、そういうのを作っても良いか もしれない。

児玉委員:町内会の文化の日のイベントをもうすこし充実させたいと思っている。 館長の講話をぜひ、文化の日にお話しいただきたい。

吉崎館長:文化の日は美術館でもサンクスデーをやっていまして、何かうまく連携して両方、梯子してもらうとかができればよい。

高橋委員:藤原展の図録に英訳をつけたのはいつものことか。

梅村学芸員:前回の彫刻賞の際にも図録に英訳をつけていた。

吉崎館長:英訳がついているということで、海外へも伝えたいという気持ちが強い、これによって彫刻賞の意味も深まってくる。

高橋委員:おしゃべり美術部レターなどいろいろな取り組みをしていることに感 心する。また、特に、次回の山内壮夫展に関しては興味をもって、会 員、皆が見に行きたいと言っている。

梅村学芸員:膨大な資料や膨大な写真を整理しており、山内壮夫の生涯やすべて を紹介できるように整理していく。